

令和4年6月15日

農業技術センター技術普及部

標 題	地元の美味しまね認証メロンを学ぼう！～温泉津小学校出前授業開催～
-----	----------------------------------

(ダイジェスト)

令和4年6月8日、大田市の温泉津小学校の3年生がメロンの農作業体験を行いました。農作業体験の受け入れを行った温泉津町施設園芸組合メロン部会では、消費者に安全なメロンを提供するため、県版GAPである「美味しまね認証」を取得しています。

この機会にあわせ、食の安全および「美味しまね認証」に関する取り組みを知ってもらうために出前授業を開催しました。

温泉津小学校では毎年、地元の特産品に対する理解を深める目的で農作業体験を行っています。今年度第1回目の農作業体験は、6月8日に（株）トウチュウ温泉津営業所のハウスにてメロンの摘果作業を行いました。温泉津町施設園芸組合の組合長からの説明を受けた小学生たちは、2本仕立てにしたツルについてのメロンの大きさを見比べながら、それぞれのツルで残す1果を選び、不要な実を取り除く作業を体験しました。体験の後は、摘果をしなければ皆が美味しいと感じる甘いメロンにならないこと等をJAしまね石見銀山地区本部の担当者から説明を受け、小学生たちは興味深そうに聞いていました。

農作業体験の後は小学校に戻り、生産者の方々が‘安全で美味しいもの’を食べて欲しいと思いつけ、産地支援課が出前授業を行いました。「美味しまね認証」のマークからは、その食べ物が‘安全に気をつけて作られたこと’および‘島根県産であること’が分かるということを小学生たちに学んでもらいました。

今後も、美味しまね認証の取得支援と併せて、認証の知名度向上や制度PRなどに関する取り組みも行い、認証を取得した生産者がメリットを感じられるような販売環境の構築に努めていきます。



農作業体験（メロンの摘果）の様子



美味しまね認証に関する出前授業の様子